

# 第7学年1組 英語科学習指導案

日時 令和元年6月14日3校時  
指導者 教諭 嵐谷 恭子

## 1 単元名 *NEW HORIZON English Course 1* Unit 3 私の好きなこと

### 2 単元の目標

- 友達と好きなことについて話す。【外国語表現の能力】
- 様々な工夫をして、やりとりを続ける。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 一般動詞を用いた文（肯定・疑問・否定）の構造を理解する。【言語や文化についての知識・理解】

### 3 授業の構想

- (1) 本単元は、インドからの転校生ディーパがクラスで自己紹介をした後、クラスメートの咲と光太がディーパにいろいろな質問するという場面設定である。言語材料としては、一般動詞を用いた肯定文や疑問文とその応答、否定文などが扱われている。本文には like, study, play など自己紹介に必要な一般動詞が使われている。そのため、本文を参考に自己紹介したり、その内容についてたずねあったりするのに適した単元であると考えられる。
- (2) 本学級は、英語学習に前向きに取り組む生徒が多く、ペアでのスモールトークなど、「話すこと」の活動では、意欲的に英語で表現しようとしている。その際、小学校で学んだ表現も使おうとする姿が見られる。しかし、間違えることを恐れ、全体の場では英語で表現することを苦手としている生徒もいる。英語の授業では、生徒が英語で表現しようとする姿勢を大切に、それを認めることで苦手意識を徐々になくしていきたいと考えている。
- (3) 本単元では、「友達と好きなことについて話す」ことを目指す。6時間目にパフォーマンステストを予定しており、自分の好きなことについて即興で対話ができることを目標とする。パフォーマンステストの後に、自分の好きなことなどの情報を含めて、簡単な自己紹介をしながら、シアトルの中学生と対話をする機会を設定する。本校では、毎年夏にシアトルの中学生と交流活動を行っている。最終的に相手がシアトルの中学生になることで、英語を使う必然性が生まれ、生徒の意欲も高まると考える。

単元ゴールを目指して、次のような流れで指導していく。①単元の最初に、最終的な目標を確認し、パフォーマンステストの内容や評価について確認する。②これまでの学習（小学校での学習も含む）で学んだ表現を取り入れることで、生徒が知っている語彙や表現を活用できるようにする。③毎時間ペアやグループでのインタラクションを取り入れて、パフォーマンステストへつながるように工夫する。④パフォーマンステストに向けて、段階的な指導を行い、伝え合う楽しさや伝え合える達成感を感じさせる。

#### 4 単元の評価規準

##### (1) 単元の評価計画

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
様々な工夫をして、やり とりを続けようとしてい る。 (話すこと・コミュニケーションの継続)	友達と好きなことにつ いて話すことができ る。 (話すこと・適切な発話)	/	一般動詞を用いた文（肯 定・疑問・否定）の構造 を理解している。 (書くこと・言語についての知識)

##### (2) 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標との関連（第7学年）

聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
ごく身近な話題につ いての英語を聞いて、 要点を理解するこ とができる。	200 語程度のまと まりのある文を時間 軸に沿って読み、内 容を読み取ることが できる。	①自分や身近な話題につ いて、簡単な英語を用 いて話すことができる。 【発表】 ②ごく身近な話題につ いて、相手を意識しな がら簡単な英語を用 いて対話することが できる。【やり取り】	自分や身近な話題に ついて、知っている語 彙や表現を活用して、 3 文以上の英語を用 いて文章を書くこと ができる。

#### 5 単元の指導計画と評価計画（全6時間 本時2/6）

時	○ねらい ・主な学習活動	評価				
		関	表	理	言	評価方法 (総括的評価)
1	○本単元で身に付ける技能や学習する内容を知る。 ・本単元の終末の活動を知る。					
	○一般動詞を用いた文（肯定文）の構造を理解する。 ・自分の好きなことなどの情報を含めて、簡単な自己紹介を する。 ・教科書本文を通して、詳しい情報をつけ加えながら、自分 の好きなことを紹介する表現を理解する。				○	後日ハ <sup>°</sup> パー テスト
2 本 時	○一般動詞を用いた文（疑問文）の構造を理解する。 ・友達と好きなことについて話す。 ・教科書本文を通して、友達の話したことについて質問をし たり、質問に答えたりする表現を理解する。				○	後日ハ <sup>°</sup> パー テスト
	○一般動詞を用いた文（疑問文・否定文）の構造を理解する。 ・好きなことについて友達に質問したり、質問に答えたりす る。				○	後日ハ <sup>°</sup> パー テスト
4	○友達と好きなことについて話す。 ・教科書本文を通して、やりとりを継続させる方法を理解す る。 ・友達と好きなことについて話す。	○	○			後日ハ <sup>°</sup> フォー マンス テスト
5	○友達と好きなことについて話す。 ・自分の好きなことの情報を含めて、簡単な自己紹介をしな がら友達と話す。	○	○			後日ハ <sup>°</sup> フォー マンス テスト
6	〈パフォーマンステスト〉 ○友達と好きなことについて話す。	○	○			ハ <sup>°</sup> フォー マンス テスト

※後日、自分の好きなことなどの情報を含めて、簡単な自己紹介をしながら、シアトル  
の中学生と対話をする。

## 5 本時の学習

### (1) ねらい

一般動詞を用いた文（疑問文）の構造を理解する。 【言語や文化についての知識・理解】

### (2) 展開

学習場面と子どもの取組	指導上の留意点
<p>1. Warm Up</p> <p>(1) Greeting</p> <p>(2) English Song</p> <p>(3) Small Talk</p> <p>(4) 本時の学習目標を確認する。</p>	<p>・次の活動につなげるために、好きなことについてやりとりするときには使える語彙や表現を用いて行う。</p>
<p>友達と好きなことについて話そう。</p>	
<p>2. 友達と好きなことについて話す。</p> <p>(1) 好きなことについてのスピーチを聞いて、それに関連する質問をする。</p> <p>(2) 3人または4人グループで、1人が自分の好きなことについて紹介し、他のメンバーが質問する。</p> <p>(3) クラスで共有する。</p> <p>(4) 教科書本文を通して、友達の話したことについて質問をしたり、質問に答えたりする表現を確認する。</p> <p>(5) ペアで、好きなことについて伝え合う。</p> <p>A: I like soccer. I' m on the soccer team. B: Do you play soccer every day? A: Yes, I do. B: Are you a good soccer player? A: No, I' m not. So I practice every day.</p>	<p>・デモンストレーションを示し、活動の仕方を理解させる。</p> <p>・質問に対する友達の答えを受けて、さらに質問することで、やりとりを継続させるように促す。</p> <p>・質問の仕方や答え方などを全体で共有する。小学校の学習で学んだ表現も使えることを確認する。</p> <p>・あいづちをうったり、詳しい情報をつけ加えて答えたりすることで、やり取りが継続・発展することを確認する。</p>
<p>3. 本時をふり返る</p>	<p style="text-align: center;">— 評価の観点 —</p> <p>一般動詞を用いた文（疑問文）の構造を理解している。 【評価方法 観察】</p>

(3) 評価（本時は形成的評価）

「おおむね満足できる」と判断される状況	努力を要する状況への手立て
Do you 一般動詞～?の文構造を使って，質問したり，質問に答えたりしている。	Are you 一般動詞～?のように，文構造に誤りがある場合，発話の際に教師が言い直したり，全体で共有したりする。

6 本単元の評価（外国語表現の能力について）

十分満足できると判断される状況	おおむね満足できると判断される状況	努力を要する状況への手立て
・自分の好きなことを伝え，相手からの質問に詳しい情報をつけ加えて答えることができる。	・自分の好きなことを伝え，相手からの質問に答えることができる。	・質問できない生徒には，教科書の表現やこれまで学習した表現などを提示し，やり取りできるように支援する。 ・質問に答えることができない生徒には，相手の質問を復唱するなどして，やり取りができるように支援する。